

大野一区

ニュース

子どもサバイバル教室

担当
中川 和之

昨年10月25日(日)大野東市民センター調理室にて、今年度第2回目子どもサバイバル教室「包丁を研いで魚を三枚におろそう」を開催しました。参加者は、子ども9名、保護者7名、役員3名、更生保護女性会4名、お手伝い1名の合計24名でした。お父さんの参加は3人でした。



初めての包丁研ぎ

「包丁研ぎ」青柳区長の包丁研ぎの解説のあと、子ども達は真剣な眼差しで包丁を手を砥石に向かっていました。

「三枚おろし」今回もアジを用意しました。まず青柳区長の解説を聞き、お手伝いの方のサポートできれいにおろしました。おろしたアジは薄力粉とパン粉を付けて、アジフライの下ごしらえを行いました。私もアジフライを頂きましたが、不思議とこの教室で作るアジフライはとても美味しいです。楽しくみんなでワイワイ言いながら作るからでしょうか？

アジの3枚おろしの解説



次回の子どもサバイバル教室は、いよいよ今年度最後(今年2月頃)となりますが、大野一区を飛び出して遠出を予定しています。皆さん、ぜひ奮ってご参加ください。

秋の一斉清掃

環境衛生部会
藤原 優

昨年10月18日(日)に秋の一斉清掃を行いました。



宮島口児童公園

今回は例年とは違い、密を避けるため午前(8時~9時)と午後(16時~17時)に時間帯をわけて清掃活動を行いました。



赤崎児童公園

皆様のご協力で、どの場所も非常に綺麗になったと思います。参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。



フジタウン公園

集会所の防火訓練



訓練参加人員 35名 実施時間 30分

昨年 10 月 30 日（金）13:30～柿の浦集会所にて、当日参加の団体の方々と防火訓練を実施。訓練概要の周知、消火器の使い方、119 番通報の要領等、この施設の規模では、2 回／年実施されます。この集会所



ホールの壁際の消火器

は、平屋で 3 方に逃げ道があるので、自分の身を守ることは出来そうです。訓練で準備された実施計画書は、充実していました。



初夏のころに準備した芋畑で子ども達の芋ほり

子ども会関係者の皆さんには 18 世帯 41 名の参加を頂き、役員、万年青会、花ひろばの皆さんと総勢 60 名を超える応援で、植替ができました。

開始前の検温・ラジオ体操・作業説明の後、子ども達は芋ほり、そして大人たちは土づくり、苗植え、バス通りへ樽設置、水やりと一連の作業を行いました。

例年にない大勢の参加人数となり子ども達の楽しそうな顔やパパ、ママたちの力強い一連の作業をみて「一区ってええのう！」と思わずつぶやきました。

バス通りに置かれた色とりどりのビオラがこの冬、行き交う人を楽しませてくれることでしょう。そして今年の 4 月には、新入生の入学を祝うようにチューリップが咲いてくれます。どんな花が咲くか楽しみです。応援者の皆さん、ご協力くださいましてありがとうございました。

バス通りの花樽植替え



環境衛生部会 花ひろば 広報係

昨年 11 月 1 日（日）バス通りの花樽植替え作業が「花ひろば」で行われました。

青葉台集会所横



花樽に花の苗植え

花ひろばで植え替えた樽をバス通りへ設置



バス通りへ設置した花樽にたっぷり水やり



秋の公園花づくり運動

環境衛生部会 藤原 優

昨年 10 月の快晴の日、一区内の 8 箇所の公園花壇にパンジーなどの苗が植えられました。区民の皆さんが納められた「環境・健康募金」の分配金を基に、大野障害者福



柿ノ浦 3 号公園

祉施設から花苗を戴いています。ちなみに、一区への苗は 600 ポットでした。



宮島口児童公園

花壇の整地、施肥、耕作、植え付け、水やりなど関係者の皆さんのご尽力に感謝しています。散歩中に何気なく目に入った冬のパンジーの色、よく手入れされた公園に心癒され、元気をもらうこと度々です。



宮島口団地 2 号公園

公園の美化は、その地区の環境意識の尺度と言われていています。これからも、公道や公園の美化活動に強く関心を持って参りたいと思います。各公園担当の副区長、関係者の皆様には大変お世話になりました。



柿ノ浦 2 号公園

完成イメージ図

フジタウン公園遊具リニューアル



秋の一斉清掃の頃から遊具が使えなくなり、パワーショベルが入ったの大掛かりな

元の木材の遊具 これもユニークな遊具でした



基礎工事がスゴイ！どんなのが出来るんだ？！



工事で、遊具がリニューアルされています。余り見る事の無い形体の遊具です。今年 1 月頃には、また賑やかな声が聞こえます。

姿が半分見えてきました 完成まであと少し



廿日市市建設部・営繕課により昨年 9 月 23 日から今年 1 月 22 日まで、柿の浦集会所の屋根の改良工事を施行しています。ほぼ出来上がり、足場が無くなるのはあと少し。これで雨漏りの心配が無くなります。

柿の浦集会所屋根改良工事



防災部会だより その3

防災部会長 山口 隆之

大野東小学校 4年生防災研修

昨年 10 月のある日、大野東小学校の有馬先生から電話があり、4年生の防災教育の授業で、自主防災との係わりについて講義をしてほしいとのこと。早速、野田さんに頼んで「青少年赤十字防災教育プログラム」と「作成中の一区のハザードマップ」を使った研修プログラムを組み立てました。



防災倉庫内の備蓄品の説明



非常食作り体験



防災トイレ用マンホール

昨年 11 月 25 日(水) 8:20、一区の大野東小 4 年生、27 名が大野東市民センターに集合。柿の浦集会所にある、防災倉庫を見学し、各自で非常食作りを体験しました。非常食作りは、防災部会の松本さんたち給食給水班の指導に沿えば、簡単に作れちゃいますね。続いて、大野東市民センターの藤田さんによる防災施設の案内に、野田さんの講義です。大野一区の防災対策等をわかりやすく解説し、「学



子ども達と防災の講義

校で地震が起きたら」とか、「台風が近づいたとき」などの想定問題に答えてもらいました。そのあと、自分で作った、炊き込みご飯の非常食を食べて、研修は終了しました。自主防災で大切なことは、災害前の準備。特に、人と人とのつながりが大切と言うのを分かってもらえたでしょうか。

ハザードマップ作成の第三回 ワークショップ開催



ワークショップ担当者の挨拶

昨年 11 月 28 日(土)に、一区ハザードマップ作成のワークショップ第 3 回目を実施しました。今回は、前回の「まちあるき」で検証した地図情報や、過去に実際に起こった災害の履歴の有無など、掲載内容の確認を行う、纏めの作業です。

一区の防災部会は、宮島口地域防災会、宮島口上地域防災会、宮島口東地域防災会、福面地域防災会の 4 地域防災会で構成され、今回は、19 名の参加をいただきました。

ハザードマップの活用方法には、家族で避難経路を確認して防災意識を高める、地域防災の話し合いで使用する、地域学習、防災訓練で使用など、いろいろありますが、災害が起こった時に広げて見るものではありません。日頃の準備で、情報の浸透を図っておくことが大切です。

今回で完成する一区専用ハザードマップは、今年 4 月に両面 A2 サイズで、各世帯配布の予定です。届いたら、是非家族で話し合いをしてくださいね。



職員やスタッフと質疑応答